

2022 年度 中国語学科 夏期海外研修レポート

提出者：大橋礼雅

所属：中国語学科 2年次

私は今回の海外研修に参加し、以前よりも中国語を聞き取ることができ、発音も良くなったと感じました。まず、海外研修は 10 日間あり、毎日 1 時間目は北京外国語大学の先生が教科書に沿って授業をしてくださいました。毎回課題があり、教科書を読む練習や作文の練習を行いました。また、授業で文法や発音の違いを教えてくださいましたため、大変勉強になりました。

2 時間目は大学院生 1 人と生徒 2 人の PUT のような授業もしくは、先生が動画やスライドを使い、中国の文化を教えるといった授業を受けました。大学院生との授業では、生徒が 2 人のため、各々に使える時間が長く、発音や作文をより詳しく学ぶことができました。中国の文化を教える授業では、分かりやすいスライドや動画によって、中国の文化について知ることができました。

この他、キューピーとイオンの企業研修では、最初に企業の説明を受け、その後に質問タイムが設けられたので、自分がしたい質問ができました。そのため、実際に現地に行けずとも、自分が気になったことを質問でき、現地での企業としての工夫などを学ぶことができました。

今回、現地に行くことはできませんでしたが、オンラインでの研修を通じて、多くのことを学ぶことができたことで、非常に貴重な研修の機会になったと感じています。